

インディアナ日本語学校便り だいごう 第21号

令和6年10月5日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

ラグビーの魂：ノーサイドの精神

～赤組、白組お互いをリスペクト～

校長 森 勝義

学校だより第18号の巻末に、

「One for all, All for one」「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」の精神で、第41回運動会を成功させましょう。と書きました。

私は、子どもたちの運動会にかける熱い思い、仲間を声の限り応援する姿、必死に競技に臨んでいる姿をみて胸が熱くなりました。もちろん縁の下の力持ちで支えていただいた様々なボランティアの保護者の皆様、職員のイニシアティブ、運営委員会の方々の前日から当日早朝に渡るサポートなくしては成功しなかった運動会でした。

子どもたちから運動会への感想、思い入れ、絵日記、作文や俳句、短歌、川柳が続々と寄せられています。9月28日はなんと138首もの投稿がありました。前週から比べますと3倍です。一人ひとりが感じる運動会への想いは計り知れません。

徒競走スタート時の緊張感を綴った俳句、リレーの選手に選ばれた重圧、それを振り切ってくれた赤組、白組の熱い応援、学年演技を仲間と成功させた達成感の供述、すべて読み終えると目頭が熱くなりました。

今後、様々なご意見、反省点、改善点等出されると思います。

確かに当日は華氏80度を超える酷暑の中での運動会でした。昨年の運動会での暑さを踏まえ、今年度は1週間ずらしての開催としました。子どもの安全、健康管理を考えて実施に至る計画を練るのは必然です。幼稚部から小学3年生までの応援席はテントの中、4年生以上は炎天下の中での応援席でした。熱中症の症状がでた児童生徒も5名いました。救護ボランティアの4名の先生が適切な処置を施していただきました。運動会の開催をもっと10月以降にしてもいいのではないかというご意見もあると思います。5月、6月にしてはどうかというご意見もあるかもしれません。しかし、日本語学校の授業日数は年42回しかありません。実質、運動会・卒業式を行うと40日しかありません。その中でいかに年間計画を組み入れていくかは大変な作業です。毎年の酷暑を考え、運動会を中止、廃止することは残念ながら考えなければいけないことかもしれません。

先週シカゴデトロイト内の日本語学校、補習校の運動会への取組を調べました。ほとんどの日本語学校、補習校で運動会が実施されています。子どもたちの運動会への想いは計り知れないものがあります。

私自身、日本の伝統文化、日本語の美しさを忘れてほしくないためにも、子どもたちに様々なアプローチをしています。異国で健気に生きる、懸命に生きる子どもたちのために必死に手を差し伸べています。先生方もしかりです。10月26日の授業参観で担任の子どもたちに対する深い情熱を感じてください。

来年度以降の運動会開催、諸行事に関しまして子どもファーストで考えていきたいと思っています。保護者の皆様のご意見をいただきながら最善の日本語学校の運営をやりたい所存です。ぜひご理解ご協力、お願いします。

一番わたしの心にのこった場面は、十年後にゆみ子がスキップしながらコスモスのトンネルをくぐって出てきたところです。

なぜなら、戦争中では、コスモスはわすれられたようにさいていたけれど、戦争後になると、ゆみ子の小さなトントンがきの家の周りを含みこむようにコスモスが、ゆたかで幸せそうに見えたからです。

作者は、この場面で、戦争が終わって楽しい生活が始まったことを表していると思います。また、「一つだけ」という言葉が出てこなくなりました。わたしは、ゆみ子が「一つだけ」と言わなくなっただけでよかったです。

◎9月28日

<投稿作品>

- 小学2年2組 松本 空 「さみしいな カナダに ひっこしもうすぐだ」
- 小学6年2組 矢ヶ崎結也 「日本では 竹馬の友が 待っている」
- 小学部 担任 「小さくて かわいい教え子 今 イケメン」
- 小学6年2組 久保田沙羅 「もりエモン どこかでみたな なんだろう」
- 小学3年2組 梅田 惇平 「Tリー先生 おもしろくて やさしいな」
- 小学3年2組 北川 祐菜 「学校で はいくをかくの たのしいな」
- 小学2年2組 ガウ 瑠花 「あいうえお かんたんすぎる ひゃくてん」
- 小学3年3組 高田 夏野 「もりさんの パラダイス わたしはすきだ」
- 中学3年1組 今井 一花 「朝つゆの 表れで季節 感じだす」
- 中学3年1組 読み人知らず 「運動会 りつぱな思い出 時計焼け」
- 小学6年1組 深川 緒莉 「風になり 銀河の星へ 行ってみたい」
- 小学3年2組 松田 希子 「二年生 はじめてのはいく おしえるよ」
- 小学4年2組 後藤 茜 「お父さん ビール買いすぎ おこられる」
- 小学部 担任 「もう一枚 俳句を書く手が 止まらない」
- 小学部 担任 「問題です ネコちゃん ピカチュウ もりエモン
私は一体 だれでしょう 」



ヒゲ森の言葉の森・探検



じっせん きゅうこう

実践躬行

理論をそのとおりに自分で実際に行うこと。口先ではなく実行が大切であることをいう。実践は実際に行うこと。躬行は自分で行うこと。

**恐れは逃げると倍になる
が、立ち向かえば半分にな
る。**

ウインストン・チャーチル

1874年〜1965年 イギリスの政治家、小説家

問題を避けようとする、恐怖心はなくならない。勇気を出して問題に立ち向かおう。解決に向かっていくはずだ。